

価値創造の源泉(資本)

価値創造に向けた現場での取り組み

人的資本の取り組みの現場

2018年末からオフサイト活動としてスタートしたダイバーシティ・ワーキンググループ(WG)は、女性や職制といったマイノリティに焦点を当てて活動しています。これまでにさまざまな座談会やセミナーなどを開催してきました。

2024年4月には、役員、分科会活動参加者、WGメンバーなど、多様なメンバーで構成された人的資本部会を立ち上げました。部会の第一弾の取り組みとして、全従業員参加型の「社員が輝く『シャイン会』」を毎月実施しています。この活動を通じて、誰もが働きがいを感じ、ワークとライフのバランスを取りながら自己の成長を実感できる「わくわくカンパニー」の実現を目指します。



堺化学工業株式会社
人的資本部会
岸 美保

Smart Material の現場

堺化学グループは「モノづくりで社会の課題を解決する：環境や社会の課題解決につながる製品やサービスを創造すること」をマテリアリティの一つとして掲げています。その指標として「Smart Material 認定製品」の開発目標件数を設定しています。

Smart Materialは、「環境・エネルギー」「エレクトロニクス」「ライフサイエンス・ヘルスケア」の3分野において「目指す未来への貢献度」と「堺化学グループ技術での貢献度」の2つの要素の評価基準を満たした製品やサービスのことを指します。Smart Materialの一例として、無機粉体の合成技術を活用した製品・技術開発や新規樹脂材料の開発を手掛けているほか、材料の評価解析技術を深化させています。



堺化学工業株式会社
中央研究所
阪口 聡

地球環境を守る取り組みの現場

事業を成長させながら環境負荷も低減することは、事業活動に多くのエネルギー、化学物質、水資源などを使用する堺化学グループにとって究極の課題です。

私は、環境マネジメントシステム(EMS)の構築・運用推進を担当していますが、実際にCO₂排出削減や廃棄物削減などの対策を考え、実行しているのは現場の方々です。そのため、環境負荷低減に取り組む意義を理解してもらい、各部署の目標に展開されるように働きかけていくことがグループの目標達成につながると考えています。

目標だけを伝えるのではなく、グループ各社、各拠点の事務局、工場関係者の方々とお互いの課題や状況を共有・相談しながら取り組みを推進していきます。



堺化学工業株式会社
品質環境安全部
太田 麻友

SDGs 推進の現場

当社は、化粧品材料製品であるパーム油由来の添加剤を使用した微粒子酸化チタンにおいて、2022年にRSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)認証を取得しました。これにより、パーム油生産による過度な森林伐採やそれに伴う生物多様性への悪影響の抑制、また現地労働者の人権の尊重や労働環境改善に貢献し、SDGsの推進につながっています。

RSPO認証は化粧品材料事業の成長にも必要です。化粧品業界では、EU市場でRSPO認証取得が標準になっており、日本国内の市場でもその浸透が進んでいます。

今後もRSPO認証取得に限らず、SDGs推進を原動力として、化粧品材料事業の成長を加速させていきます。



堺化学工業株式会社
コスメティックイノベーション部
田茂井 トウイン 西村 聡